

いっそ全員無償化へ！

世田谷区の学校給食(食材費)
すでに小学校で約 24% 無償化
中学校でも約 35% 無償化実施



●現在、世田谷区の小学校では4人に1人が、中学校では3人に1人が給食費(食材費)の無償化が実践されています
●今年に入り、相次ぐ物価高につぐ物価高で、食材費も高騰

し、まともな給食を提供することの工夫にも限界が●9月議会では補正予算で10%の補助を決定しました●しかしそれでも食材費は値上がりが続いています●保坂区政の前の熊本区政では全国に先駆けて、子ども医療費の無償化を中学生まで引き上げました●当時の記録を読み返しても「行革の成果」として子どもたちに還元するとあります●子どもたちの栄養状況と医療費は表裏一体であり、義務教育に余計な格差意識を持ち込むべきではありません●そもそも、義務教育であり給食は確実に子どもたちの「胃袋」への投資となります●今こそ子どものために行革を実践し、給食費の完全無償化をと、議会で保坂区長に求めているのですが、「やるとも、やらないとも」優柔不断●すでに葛飾区では実施を区長が宣言！●行革が出来ない区長って？？

【平成18年9月26日】

福祉保健常任委員会 議事録より
※平成18年(2006年)

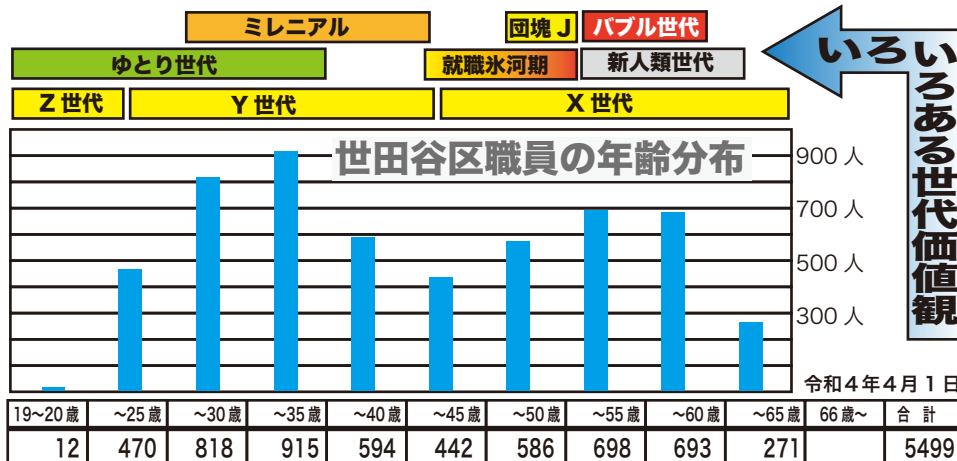
●田中担当部長 本件は、平成18年12月より、子ども医療費助成制度の適用範囲を中学校三年生修了までに拡大するためご提案申し上げます。

●大庭正明委員 これは別に借金でするわけではありませんよね、内部的な行革の成果として生み出されたお金がここに充当されるという理解でよろしいんですよね。

●田中担当部長 これまでの行政改革の成果をここにに使わせていただく、そのように認識してございます。

4

区役所は時代について行けるのか？



●上の棒グラフは世田谷区役所の職員を年代別に並べたもの●区役所はいつも同じと思いがちですが、世代交代は5年単位で着実に進みます●数年前までは世田谷区役所でもフロッピーが現役だったとか●議会ではペーパーレスとなり、かつての資料の山がiPadの中に入ってます(右はXYZ世代についてのメモ。同時代に3つの価値観が同居する歴史上初の社会状況とか、言われています)

DX 担当副区長招聘



●世田谷区もDX推進の波に遅れることなく、この6月にサイボウズ社の幹部でクラウドソーシャルデザイナーの松村克彦氏(58)【写真】を副区長としてスカウト●いわゆる民間人登用だが、DXは民間老舗企業でも難しいと言われる中、老舗以上に古い体質を有している「お役所仕事」をどう整えるのだろうか●区役所が区民にとって本当に便利になるかは、松村副区長にかかっている●ただし、サービスの送り手である区役所職員のDXに向けたスキル向上は大きな課題だ。

デジタルを使いこなせる世代 今さらの世代

●X世代とは現在40代前半から60代前半で、幼少期にテレビに親しみ、成人した後に携帯電話やインターネットの普及を体験した世代。
●Y世代とは現在、20代半ばから40代前半で、幼少期から青年期にIT革命を経験したデジタルネイティブの最初の世代。
●Z世代とは現在、10代前半から20代半でネット環境が生まれながらにいて揃っている世代。

あとがき

DX(デジタル・トランスフォーメーション)は新しい形の「行革」です。うまくいけば区民の皆さんにとっては区役所の姿が変わり、住民自治の意味も毎日の生活の一部にさえなります●DXは最初はIT機器の導入やペーパーレス、紙データからデジタルデータへというのが出発点です●区役所内部でもいわゆるX世代とY世代との間で、上司より部下の方が知識があるという逆転現象が起きつつあります●ただし利用者にとっては、高齢者にもやさしい仕組みを作るのがDX(ここが単なるIT整備とは違う点)●問題はサービスの送り手なのです。保坂区長はいつものように民間出身の副区長に丸投げの様。

おおば正明(大庭正明) 略歴 ①昭和62年「世田谷行革110番」から組織なし、カネなし選挙で、最下位で初当選(次点と14票差) ②以後連続9期、政党所属暦なし、一貫して無所属 ③「福祉の財源は行革から」を政治信条 ④■成蹊大経済卒66歳【家族】妻と二人暮らし 祖師谷、北烏山を経て粕谷在住。